

女伏

白秋全集
26

童謡集
2

白秋全集 26 第四回配本(第Ⅱ期二五、三七巻・別巻一)

一九八七年四月六日 発行

定価四二〇〇円

著 者 北 原 白 秋

発行者 緑 川 亨

〒101 東京都千代田区一ツ橋二五五
発行所 株式会社 岩 波 書 店

電話 〇三・二六五・四二二
振替東京六六六・二四〇

落丁本・乱丁本はお取替いたします

目次

『花咲爺さん』

[illegible]

雀さかし	三
竹取の翁	三
瘤とり爺	二五
花咲爺さん	二六
虎の煙草	二〇
虫のうた	三
雨のあと	三
閻魔堂	二五
螢の出盛り	二五
てんと虫	二五
どんたく	二〇
はむし	二〇
蝶蝶の子供	二〇
夕飯すぎ	二〇
かなかな蟬	二〇
つくつくほうし	二〇
郵便くばり	二〇

さいかち虫^{むし} 四

鳥^{とり}のうた 四七

みそつちよ 四八

笛^{ふえ}と雀^{すずめ} 四九

玉蜀黍^{とうもろこし}と雀^{すずめ} 五〇

もす 百舌^{もす}きち 五一

つぎよ 月夜^{つきよ}の稲^{いね}扱^とき 五二

き 木^きの実^み採^とり 五三

すずめ 雀^{すずめ}のお手^てまり 五四

すずめ 雀^{すずめ}のあた^あまは 五五

べにか 紅^{べにか}借^かり白^{しろ}鷺^{さぎ} 五九

けだもの 獣^{けだもの}のうた 六

あめ 雨^{あめ}の田^た 六

おしめり 六

みづ 水^{みづ}の里^{さと} 六

よ 寄^より道^{みち} 六

病 やま 犬 いぬ	炎
山 やま から来た馬 うま	壱
親 おやうしこ 牛 うし 子の牛	穴
千匹 せんびきさる 猿	古
ゐのしし	セ
草 くさ や木 き のうた	五
葡萄 ぶどう の蔓 つる	齒
枇 ひ 杷 は と菱 ひし	量
山 やま の枇 ひ 杷 は	毛
なまけ柿 がき	元
合 あ 歛 む	合
お山 やま のうた	八
かやの木山 きやま の	三
砂山 すなやま	三
こんこのお寺 てら	八
お山 やま のあられ	金

こんこん小松	六
わらび	七

ねんねこうた	九
--------	---

小さなお小舎	九
--------	---

おころり小山	九
--------	---

あれはときがね	九
---------	---

おねんね、ねんね	九
----------	---

双六のうた	九
-------	---

『子供の村』

序 詩	一〇三
-----	-----

子供の村	一〇四
------	-----

子供の春	一〇七
------	-----

新入生	一〇八
-----	-----

豆の葉	一〇九
-----	-----

ころころ蛙	二二
たんぼぼ	二三
伝馬ゆさぶろ	二四
牛と子ども	二五
学校がよひ	二六
やなぎのわた	二八
栄螺の夢	二九
子供の夏	三三
陸と海	三三
子どもの大工	三三
いちご	三五
からたちの花	三七
かんなくづの笛	三八
あの子のお家	四〇
夏の小川	四一
笛	四三
山羊の子	四三

すずらん	一七
蓮の花	一八
鸚哥さん	一九

子供の秋	二〇
------	----

お窓のそと	二四
子どものお医者	二五

われもかう	二七
日のくれの声	二八

月の出	二九
お坊さま	三〇

山道とつぶり	三一
--------	----

子供の冬	三二
春まで	三五

子供(156)	母親(158)
---------	---------

ベチカ	三八
鷹	三九

『二重虹』

序詩	一五
二重虹	一六
二重虹	一七
雨の樋	一八
返り花	一九
げんげ田	二〇
髪刈り	二一
月夜の蝶	二二
お床の置物	二三
父さん母さん	二四
いたづら子獺	二五
おねどこ	二六

お菓子ねだり	105
ぬすみ	106
子鴉 こがらす	107
月夜の蝶 つきよてふ	108
鶉 うづら	109
ねぼけ鴉 ねぼけがらす	110
おつびらき	111
蓮の花 はすはな	112
おうちの溜池 たぬいけ 三吉のはなし	113
にぎりめし	114
子犬と子鴉 こいぬこがらす	115
飛んで行つた子鴉 とこがらす	116
鴉どこ行た からす	117
雨の夜 あめのよ	118
彼岸花 ひがなばな	119
羽織 はおり	120
哥路の冒険 ころぼうけん	121
お米の七粒 こめななつぶ	122

まづしい御飯 ごはん	二五二
雀 すずめ といつしよに	二五三

二人 ふたり の上人 しやうにん さま	二五五
---	-----

フランシス上人 しやうにん と雀 すずめ	二五六
--	-----

ぐるぐる廻り まは	二五八
--------------------------	-----

アントニオ上人 しやうにん と魚 うを たち	二六八
--	-----

巻末 くわんまつ に	二四二
---------------------------	-----

『象の子』

象 さう の子 こ の話 はなし	二五二
---	-----

象の子	二五五
-----	-----

ブーム ブーム	二五七
---------	-----

猪 いのしし と小川 がは	二六三
---	-----

皿 さら の中 なか のお庭 にわ	二六五
--	-----

ダンテと鍛冶屋	二七
ランプを窓に	二六
こほろぎ	二九
赤い頭巾	二七
芥子粒夫人	二五
ゐねむり王さま	二八
織田信長	二八
あの鳴る銅鑼は 手まり唄	二八
阿蘭陀医者	二八
人形つくり	二五
象の子	二九
木馬の夢	二九
片眼の象	二九
一本一疋	二九
田舎のお牛	二九
馬の顔	二九
日永	二九
物臭太郎	二九

『月と胡桃』

花 ^{はな}	二九七
ちらちら雪 ^{ゆき}	二九八
卷末 ^{くわんまつ} に	二九九

序	三〇一
-------------	-----

I 月と胡桃	三〇二
------------------	-----

獵季	三〇三
漣は	三〇四
水のそば	三〇五
月と胡桃	三〇六
月夜の庭	三〇七
月光曲	三〇八
月夜の波止場	三〇九
月に	三一〇

月へゆく道	三二八
白いもの	三二九
珊瑚樹	三三〇
落下傘	三三一
月のひかりを	三三三
青い魚	三三三
まあるい丘から	三三四
月の中から来る人	三三五
白いこだま	三三六
月夜の仔馬	三三七
白い列	三三八
いびき	三三九
月と帽子	三三〇
ほういほうい	三三一
II イワンの家	三三三
道ばた	三三四
遠い野原	三三五